

# アナログで面倒な企業の「モノの管理」。

## PCから消耗品まで、あらゆるものを管理する Convi.BASEが物品管理を劇的に変える！

DX推進の機運の高まりによってあらゆる業務のデジタル化が進むなか、こうした潮流から取り残されている「物品管理業務」は現在もExcelや紙を使って管理している企業も多い。しかしながら、物品管理の対象が多岐にわたり、煩雑で業務負荷が大きい作業であることから、バックオフィス業務のなかでもデジタル化の恩恵は大きいはずである。そこで本稿では、企業の物品管理の現状やそれによって生じる課題を示すとともに、それらの課題を解決する「Convi.BASE(コンビベース)」とはどのようなソリューションであるのか、株式会社コンビベースの代表取締役社長 森本 哲行氏と営業第1グループマネージャーの伊藤 秀氏に話を伺った。

### 101 物品管理業務のデジタル化がなかなか進まない理由とアナログ管理の課題

従来IT活用がなかなか進まなかったバックオフィス業務にもその波が押し寄せており、経費精算や勤怠管理などの業務が次々とデジタル化されている。しかしながら、こうしたバックオフィスDXの流れの中でも手つかずなのが、物品管理業務である。コンビベースの代表取締役社長、森本哲行氏は次のようにコメントする。

「物品管理業務は、基本的には法律で規定された管理方法が存在しないため、現状はどこの企業・組織も紙やExcel台帳などでのアナログ管理を手探りで行っているケースがほとんどであり、まだまだデジタル化が進んでいない状況にあります」  
(森本氏)

一口に「物品」と言ってもその内訳は様々であり、大きくは固定資産、IT資産、備品に分類される。このうち固定資産については、償却計算を行うことから専用の償却管理システムを導入している企業が多い。しかし、償却管理は経理部門、物品の所在をはじめ固定資産そのものの現物管理は総務部門というように別々で管理されるのが一般的である。また、IT資産管理においてはPCやその周辺機器、ソフトウェアなどは情報システム部門が担当し、さらに通常の備品に関しては総務部門が管轄している。

このように管理対象によって管轄部門が分かれ、各々Excelや目視で管理しているため、棚卸し作業は、部門間の連携が重要となってくる。アナログな管理方法ゆえに部門間の連携がうまくとれず、棚卸し作業に苦戦する企業も多いだろう。

物品管理担当者が抱えがちなモノの管理の悩みについて、コンビベースの営業第1グループマネージャーの伊藤 秀氏はこう言う。「管理している台帳(データ)と現物の所在が合わない、棚卸しの業務負荷が大きい上に精度が低い、担当者によって精度が異なる、遊休品の活用ができるおらず二重投資が発生してしまう、などといった様々な問題に直面している企業様が多いです。さらに、内部監査や監査法人から資産管理強化の指摘を受けたりと、多くの物品管理担当者は大変な苦労を強いられています」(伊藤氏)

一方で、会計システムと連携して資産管理を行うケースも見受けられるが、あくまで会計システムであるため「物品管理」という視点からいえば機能は不十分というのが正直なところだ。

### 101 システム連携とデータ一元化で、面倒な物品管理業務を効率化

こうした課題を一括で解決できるソリューションとして注目を集めているのが、コンビベースが提供するクラウドシステム「Convi.BASE(コンビベース)」である。Convi.BASEは、柔軟な台帳機能に加えて棚卸し・貸出し・入出庫などの機能を備えた「モノの管理のプラットフォーム」であり、1,000社以上の導入実績を誇る。

同社は、情報とファシリティをオフィス資産と定義し、その管理に必要なツールやサービスを提供することにより、業務改善や生産性向上を図り、企業の継続的発展を支援すること目的に2000年に設立された。オフィス資産管理を中心に、顧客管理や業務管理など、多彩なサービスを提供している。Convi.BASEは企業が所有す



株式会社コンビベース  
代表取締役社長  
森本 哲行氏



株式会社コンビベース  
営業部 営業第1グループ マネージャー  
伊藤 秀氏

るあらゆる物品を簡単かつ効率的に管理するパッケージソフトとして2005年にリリースされ、2011年にはクラウドサービスの提供を開始。現在では「モノの管理」といえばConvi.BASEと言われるまでに成長し、管理部門の生産性向上に活用されている。

Convi.BASEの特長の1つとして、システム連携の容易さが挙げられる。たとえば固定資産、リース資産管理においては、償却管理システムやリース管理システムとの連携をインポート・エクスポート機能によって簡単に行える。そして固定資産、リース品、備品といった現物管理のデータを一元管理し、そのデータをもとにICタグやバーコードを発行して物品に貼り付けるこ

« ビュー選択

## ■ 物品

▼ フィルター

□ プロジェクト	+ 新規追加	編集	× ごみ箱へ移動	I	(1-100/373)		<	>	倉 ごみ箱	≡
■ 管理番号	資産名	ファイル1	資産種別	物品種別	建物	フロア	設置場所	管理部門	取得年月日	
00000001	パソコン CF-NX2		固定資産	IT機器(パソコン)	東京本社	9F	オフィススペース	総務部	2015/02/03	
00000002	テレビ SHA-G 210		固定資産	OA機器	東京本社	9F	オフィススペース	営業第1部	2007/10/30	
00000003	ローバーティション		固定資産	什器・備品	東京本社	9F	オフィススペース	経理部	2005/09/01	
00000004	収納棚		固定資産	什器・備品	東京本社	9F	オフィススペース	経理部	2007/10/01	

## オンライン台帳

とで、現物との紐づけが可能になる。

「棚卸し作業に関しても、Convi.BASEを活用すれば従来の目視による『探す棚卸し』からバーコード・ICタグを『読み取るだけの棚卸し』へと変わるので、棚卸し作業にかかる時間を大幅に削減できます。実際、Convi.BASEを導入したお客様では3分の1から10分の1ほどの工数が削減されています」(森本氏)

また、物品の管理項目を柔軟に設定できるといった操作性の高さも、Convi.BASEの大きな魅力の1つである。例えば、会計システムや償却管理システムとの連携に際して、システム側の項目に合わせて設定できるうえ、現物のより詳細な情報を内付けて登録できる。具体的には、物品購入時の見積書や設備の仕様書、点検報告書、写真などのデータや、現物の詳細な所在場所なども付随情報として登録が可能だ。

「管理項目を柔軟に設定できるので、固定資産やIT資産以外にも、書類の管理やメディアの管理などといった、あらゆるもののが管理が可能です。また、運用していくなかで項目を増やしたいとなった場合にも、

ノンプログラミングで簡単に画面上から設定を変更できるので、この点について多くのお客様から評価の声をいただいております」(伊藤氏)

このように、使い勝手を重視したConvi.BASEは、シンプルな画面構成で特別なスキルがなくても直感的に操作することが可能になっている。さらに現場においても、モバイルアプリで簡単に棚卸しや貸出しが行えるため、ITリテラシーが高くない社員も負担なく使いこなすことができる。

### 「なぜもっと早くやらなかったのか」の声も

上述のように物品管理業務を効率化させるConvi.BASEだが、実際に本ソリューションを活用して成果を上げている企業の事例を紹介する。大手自動車メーカーの主要工場の1つでは、約20,000点にも及ぶ固定資産を有しているが、かつてはデータ管理ができておらずアナログな棚卸しに大いに苦労していた。そこで、棚卸しのデジタル化で管理精度を向上すべく、

Convi.BASEを導入。これにより同社では、固定資産の棚卸しの進捗状況や結果を可視化するとともに、管理精度の向上を実現したという。現場からも「なぜもっと早くやらなかったのか」と高く評価する声が寄せられており、同社はI拠点への導入からスタートしたが、今後は他の工場へのConvi.BASEの展開を検討している。

これ以外にも、多くの企業・組織がConvi.BASEを導入し物品管理業務の大規模な効率化に成功している。また、Convi.BASEでは導入から運用に当たってのサポート体制も充実しており、コンビベースは幅広い業界での実績に基づいたノウハウや知見を活かした支援も提供している。

伊藤氏は、「物品管理業務をデジタル化したいがやり方がわからないというお客様に対しても、運用のための仕組みやルールづくりのコンサルティングからラベルの貼付代行、定期的棚卸しの代行といったアウトソーシングの支援まで、個々のニーズに応じて一気通貫した提案が可能ですので、まずは遠慮なくお声がけください」と呼びかける。

そして最後に森本氏は、「手探りで物品管理を行い、煩雑な作業を強いられている企業も多いと思いますが、こうした課題を一挙に解決できるシステムが存在することをぜひ知りたいですね。当社としては今後、より多くのモノを適切に管理できる仕組みを提供し、企業様のニーズにより一層耳を傾けつつ、Convi.BASEのさらなる改善と機能向上に取り組んで参ります」と、今後の抱負を語った。



## 株式会社コンビベース 営業部 マーケティンググループ

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PM0日本橋茅場町ビル8F

TEL 03-5643-6743

HP <https://convibase.jp/cb-company/>

お問い合わせ cb-info@convibase.co.jp